

会 議 録					
行田市教育委員会 令和5年第8回 7月定例会					
招集年月日	令和5年7月20日(木)		開会場所	行田市産業文化会館 2A会議室	
開閉の時刻 及び宣言者	開会	7月20日(木)	午後 2時00分	教育長	渡辺 充
	閉会	7月20日(木)	午後 3時52分	教育長	渡辺 充
教育長	渡辺 充	教育長職務代理者	鹿山 高彦	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	渡辺 充				
2	鹿山 高彦				
3	飯塚 千十世				
4	大澤 恵子				
5	大竹 洋平				
議 事 参 与 者			書 記		
教育部長	小池 義憲	書記長	長島 浩司		
教育部次長兼図書館長		書記次長	横田 嘉織		
兼視聴覚ライブラリー館長	増田 勉	書記	萩原 宏幸		
教育部次長					
兼教育指導課長	石崎 昌稔				
教育総務課長	長島 浩司				
学校給食センター所長	小林 誠				
生涯学習スポーツ課長	野口 啓司				
文化財保護課長	中島 洋一				
教育文化センター所長					
兼中央公民館長	新井 大				
郷土博物館長	鈴木紀三雄				
教育部副参事	近藤 隆洋				
教育部副参事	大野 三佳				
教育部副参事	岡部 将弘				
教育支援センター所長	田口 範幸				
教育指導課主幹	岡島 亮				
教育指導課主幹	姉崎 亮太				
教育指導課主幹	樋田 陽介				

	会議事件名	顛末
<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>報告第2号 教育長職務代理者の指名について</p>	<p>市民憲章唱和（省略）</p> <p>教育長 本日の会議日程は報告1件及び議案3件である。日程第3議案第43号は個人情報を含む案件であることから非公開、日程第2議案42号は教科用図書採択に係る部分のみ非公開とし、採択に先立つ報告、協議並びにその他の議案及び報告は公開としてよろしいか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長 日程に先立ち、6月定例会の会議録について事務局に報告を求める。</p> <p>書記次長 6月定例会会議録報告</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長 本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、令和5年7月1日付けで、鹿山高彦委員が教育長から職務代理者に指名されたので、報告するものである。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p>

	<p>議案第44号 行田市立学校給食センター 運営委員会委員の委嘱につ いて</p>	<p style="text-align: center;">【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校給食センター所長</p> <p>本案は、行田市立学校給食センター運営委員会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。</p> <p>運営委員会規則により、学校給食の年間事業計画等を審議いただくもので委員は10名、委員長は市長、副委員長は教育長とされ、その他の委員について、選出母体から推薦いただいた方々である。</p> <p>任期については、令和5年8月1日から令和6年7月31日までの1年間で、新任が7名、再任が3名である。</p> <p>教育長 何か意見等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【全委員承認】</p>
	<p>議案第42号 令和6年度使用小学校教科 用図書の採択について</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育長</p> <p>協議は、教科ごとに進めてよいか。</p> <p style="text-align: center;">【全委員承認】</p> <p>教育指導課長</p> <p>提案理由について説明する。</p> <p>令和6年度使用教科書の採択事務処理について、令和5年3月31日付け第72号各都道府県教育委員会教科書関係事務主管課長宛て文部科学省初等中等教育局教科書課長通知において、小学校用教科書の採択については、全ての教科書について、令和4年度に採択したものと異なる教科書を採択することができる。その際、小学校用教科書目録（令和6年度使用）に登載されているもののうちから採択することとされる。これに伴い、令和6年度から使用する行田市立小学校用教科用図書について</p>

		<p>小学校用教科書目録（令和6年度使用）に登載された教科用図書のうちから採択を行う必要がある。</p> <p>また、採択の権限は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号により、行田市教育委員会が有するため、議案として提案するものである。</p> <p>まず、国語について東京書籍から報告する。</p> <p>系統性を重視した学習活動を設定しており、前学年までの学習と関連付けながら各領域の能力の育成を図り、1年間を通してより多様な思考ができるよう構成されている。</p> <p>次に、教育出版である。</p> <p>児童が、必要な情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりできるよう、体系的なまとめのページが新設された。複数の教材で何度も反復して学習することにより、実際に活用できる力が身に付くように工夫されている。</p> <p>次に、光村図書出版である。</p> <p>各領域の学習過程において、児童の「問い」を重要視しており、自らの問いに迫る思考場面により考えを深めることで、思考力・判断力・表現力を育てることをねらいとしている。</p> <p>教育長</p> <p>国語について、意見があったらお願いします。</p> <p>大竹委員</p> <p>東京書籍は、文章を読む前に気を付けるポイントがあり、意識を向けやすいと感じた。話し合いの中で「話す」ことや話すことを「聞く」ことは大切であり、光村図書の話し合う活動は良いと感じた。</p> <p>大澤委員</p> <p>教育出版は、写真やイラストが大きい印象で見やすく感じた。また、光村図書は、高学年の教科書が1冊にまとめられており、今まで使い慣れているので読みやすいと感じた。</p> <p>飯塚委員</p> <p>光村図書は、各学年で読む教材で学んだ文章構成や表現方法などの形式を使って各活動が設定されているのは良いと感じた。</p>
--	--	---

		<p>鹿山委員</p> <p>光村図書は、文字のフォントや行間も適切で読みやすいと感じた。児童にとって興味を抱きやすい説明文を扱ったり、実際に点字の読み取りを体験できるページを設けたりして、児童にとって学習しやすいと思った。教科書会社により挿絵が異なり、受ける印象も違うように感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に書写について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>書写について、東京書籍から報告する。</p> <p>筆順の学習では、文字の筆順やつながりが分かるように点画を色分けして示されている。「学びを生かそう」は、日常生活や学校生活に生かせる教材を取り上げて、一年間の学習を振り返り、活動できるように工夫されている。</p> <p>次に、教育出版である。</p> <p>文字を比べて話し合ったり、気付いたことを伝え合ったりして表現力を高め合う学びが設定されている。</p> <p>「ここが大切」で学習内容を的確におさえさせ、「考えよう」で児童に考えさせ、思考力を高める工夫をしている。</p> <p>次に、光村図書出版である。</p> <p>各学年の「書写 広げたい」では、原稿用紙の使い方や、マスや行の中に字を収める書き方、文字の大きさや配列などの技能が赤字で示されている。</p> <p>「たいせつ」で学習内容を的確におさえさせるとともに、巻末に『「たいせつ」のまとめ』として「たいせつ」の内容を一覧で振り返ることができるように工夫されている。</p> <p>教育長</p> <p>書写について、意見があったらお願いします。</p> <p>飯塚委員</p> <p>書写で学ぶ、美しく文字を書くことは、生涯を通じて大切な学びの一つである。光村図書は発達段階に応じて、段階的・系統的に教材が配列され、着実に書く力が身に付く。どの教科書会</p>
--	--	---

		<p>社も手紙やはがきなどの書き方が掲載され、日常生活に生かすことは大切だと感じた。</p> <p>大澤委員 東京書籍は、「書写のかぎ」を活用することで、ポイントを理解できると感じた。教育出版は、教材の文字が右ページに示され、半紙に対する文字の位置がイメージしやすい。文字感覚を自然に育むことができる紙面があり、教育的効果が高いと感じた。</p> <p>鹿山委員 教育出版は、文字の書き方がわかりやすく示されており、児童の学習支援に効果的であると感じた。</p> <p>大竹委員 教育出版は、具体的な学習の進め方を4つのステップで具体的な手順として示していて、主体的な学びにつながると感じた。また、話し合う活動があり、色々な意見を聞くことは大切だと感じた。</p> <p>教育長 次に社会・地図について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 社会・地図について、東京書籍から報告する。 単元の終わりの「生かす」というページにおいて、学習したことをふまえて社会的な事柄に参画・提案することができるように、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする場面が設けられている。 次に、教育出版について報告する。 「社会科の学習の進め方」では、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「つなげる」の学習段階が明記されており、「わくわく！社会科ガイド」では、学び方が示されている。「学びのてびき」で、学習を進めるときに必要な技能について掲載し、学習をスムーズに進めることができるよう工夫されている。 次に、日本文教出版について報告する。 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多面的に考えるコー</p>
--	--	--

		<p>ナーや、社会に見られるような課題を把握して、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断して表現する力を養えるコーナーが随所に設定されている。</p> <p>続いて、地図について、東京書籍から報告する。</p> <p>「地図のきまり」や「地図帳の使い方」を設け、地図記号や索引、方位、縮尺地形表現等、基本的な地図の読み方が解説されている。また、各ページに距離や方位が示され、地図を正確に読み取れるよう工夫されている。</p> <p>次に、帝国書院について報告する。</p> <p>「トライ!」、「地図マスターへの道」などのコーナーや、デジタルコンテンツの動画など、児童が楽しく主体的に地図を使用できるよう工夫されている。資料ページでは、自然、災害と防災、産業、貿易等幅広いテーマに沿ったコーナーが設けられている。</p> <p>教育長 社会全般について、意見があったら願います。</p> <p>大澤委員 社会のどの教科書も二次元コンテンツが豊富で、動画やワークシート、クイズなど各社工夫を感じた。東京書籍は、資料と本文が分けてまとめているので、見やすいと感じた。</p> <p>飯塚委員 東京書籍の、現代の諸課題に関わることができるよう、学習内容を生かして社会的事柄に参画したり、提案したりする「いかす」の場面が設定されているのは良い。</p> <p>鹿山委員 東京書籍では、稲荷山古墳から出土した鉄剣と熊本県江田船山古墳から出土した鉄刀の説明から、大和朝廷の力が九州から関東にまで及んでいたということがよくわかる。教育出版は、「どんなことがわかるか」と質問形式になっているので、思考力を働かせる工夫がされていた。行田の児童にとっては、地域の歴史的遺産について深く学ぶ良い機会であると感じた。</p> <p>大竹委員</p>
--	--	---

		<p>地図は、大人になっても生活において必ず活用するものなので、しっかりと見方などが身に付くものがよいと思う。東京書籍の「Hop step jump」は分かりやすく、段階的な学びを意識していると感じた。帝国書院は「地図のやくそく」が具体的でわかりやすい。</p> <p>飯塚委員</p> <p>帝国書院は、世界の統計で掲載されている国の数が多く、日本の貿易についても詳しく掲載されているので、日本と世界との比較がしやすいと感じた。また、東京書籍はレイアウトなどがスッキリした印象で見やすいと感じた。</p> <p>大澤委員</p> <p>帝国書院では、「地図マスターへの道」というコーナーが随所に配置されており、学習を進めていく中で、児童の主体的に学ぶ力を育むことができると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に算数について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>算数について、東京書籍から報告する。</p> <p>様々な解決方法について、図や式等を用いて、分かりやすく説明している。ブロックなどの半具体物の操作や筆算の手順の説明と、式を図解した説明が対応している。数直線を多く取り上げ、数量関係を捉えやすくしている。学びが深まるようなノートの取り方も具体的に例示されている。</p> <p>次に、大日本図書である。</p> <p>学習のめあてを毎時間示しており、本時の学習内容を明確に意識しながら学習が進められるように工夫されている。巻末補充問題「プラス・ワン」や適用問題が充実している。また、リンクマークやインデックス、索引等により、既習事項を振り返りながら自分で学習を進められるように工夫されている。</p> <p>続いて、学校図書である。</p> <p>既習事項をもとに子供が考えやすい構成になっている。「図や表を使って問題を考えよう」を全学年に配置し、図や表の使い方が系統的に学べるように工夫されている。「ふりかえろう つ</p>
--	--	--

		<p>なげよう」のページでは、学習内容を発展的・統合的に捉え直し、深い学びにつなげられるようにしている。</p> <p>次に、教育出版である。</p> <p>導入「どんな学習がはじまるかな」では、児童が身近な題材から算数の問題を発見し、「学んだことを使おう」、「算数ワールド」等では、学習したことを活用して日常場面の問題を解決したり、発展的に考えたりすることで、算数への興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>続いて、新興出版社啓林館である。</p> <p>文章題を多く扱っている。また、問題によって様々な種類の図を系統的に学べるつくりになっている。巻末の「学びをつなげよう」では、前の巻までの学習事項と本冊でのつながりがまとめられており、既習事項をいつでも確認することができるように工夫されている。</p> <p>最後に、日本文教出版である。</p> <p>「算数で使いたい見方・考え方」、裏面が「学び方ガイド」という、切り離して使える資料がついており、学習の参考となる手立てが書かれている。巻末の「算数マイトライ」では、3段階の問題が掲載され、実態に応じて自分で取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>教育長</p> <p>算数について、意見があったらお願いします。</p> <p>大澤委員</p> <p>算数は特に基礎基本を身に付けていないと、次の単元や学年で困り感をもちやすい教科なので、児童がしっかりと計算の仕方や公式を理解し、身に付けられるものが良いと思う。東京書籍は、問題やまとめなどの重要事項が枠で囲まれており、児童が理解しやすいように強調されている。大日本図書は練習問題がページ内に収まっているので、分かりやすいと感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>東京書籍は、数直線がよく使われていて、わかりやすく説明されているため、児童は学びやすいと感じた。啓林館の、学びのまとめ、たしかめよう、ふりかえろう、やってみようが、習ったことを身に付けるためにもよいと感じた。</p>
--	--	---

		<p>飯塚委員</p> <p>東京書籍でも「いかしてみよう」、「おもしろもんだいにチャレンジ」で習ったことを生かした発展的問題があり、考えを深めることができる。</p> <p>大竹委員</p> <p>日本文教出版は、各項目の前に前学年の復習があり、学習のつながりを意識していると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に理科について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>理科について、東京書籍から報告する。</p> <p>予想や計画の場面では、児童の生活経験や既習事項の知識をもとに考えられるように、「理科の見方・考え方」を働かせるヒントを具体的に示している。</p> <p>次に、大日本図書である。</p> <p>理科の見方につながる着目点を、「ココに注目」で示しており、児童自身が理科の見方を働かせて、科学的に問題を解決できるよう工夫されている。</p> <p>続いて、学校図書である。</p> <p>「問題を見つけよう」、「結果から考える」では、対話の場面が多く設けられており、自分の言葉で表現することで深い理解につながるようにしている。</p> <p>続いて、教育出版である。</p> <p>単元導入では、児童が活動している様子や不思議を感じさせる写真などを精選し、児童の気づき、「なぜ？」から学びが始められるようにしている。</p> <p>最後に、新興出版社啓林館である。</p> <p>学んだことがくらしにつながる「くらしとリンク」を全単元末で掲載し、日常生活に関連した話題を多数掲載して、理科を楽しく学べる工夫がみられる。</p> <p>教育長</p> <p>理科について、意見があったらお願いします。</p>
--	--	---

		<p>大澤委員</p> <p>理科の実験等については、安全への配慮が重要である。東京書籍では、安全に配慮が必要な箇所について赤で「キケン」のマークをつけ注意を促し、児童が安全に学習に取り組めるように配慮されていると感じた。大日本図書の理科ノートの書き方はわかりやすく、どのような学習をしてきたのか振り返ることができる。</p> <p>鹿山委員</p> <p>キケンのマークについては、教育出版も目立っていてわかりやすい。大日本図書の問題、予想、計画、実験が見開き2ページ構成となっていて、結果が次のページにあることで、結果がすぐに見えない工夫は良いと感じた。</p> <p>大竹委員</p> <p>近年プログラミング教育が必要とされているが、東京書籍ではプログラミング的思考を育むため、「理科とプログラミング」というコーナーがあるのは良い。啓林館は色々なコラムがあって、理科が生活と密着していることがわかり、理科への興味を引く工夫がある。</p> <p>飯塚委員</p> <p>東京書籍は、全体の構成が「問題」、「実験」、「まとめ」という学習過程になっており、児童も教師にとっても見通しをもちやすい構成になっていると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に生活について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>生活について、まずは、東京書籍から報告する。</p> <p>無自覚だった気付きが自覚化される児童の姿や、その気付きが相互に関連づく児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示されている。「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」は、学習活動や生活に即した習慣や技能を身に付けるのに役立つように示されている。</p>
--	--	--

		<p>次に、大日本図書である。</p> <p>観察カードには、目・耳・鼻・手・星のマークが示され、児童に視点を与え、気付きの質を高める工夫がされている。また、「がくしゅうどうぐばこ」では、観察の視点（離れて見る、聞く、かぐ、さわる、並べる、自分と比べる、表と裏で比べる等）を示している。</p> <p>続いて、学校図書である。</p> <p>「生活科学び方図鑑」や「ものしりノート」では、学んだことが、「はなす」、「きく」、「かく」、「はっぴょうする」などの言語活動を通して表現を広げたり、学びを深めたりできるよう工夫されている。</p> <p>次に、教育出版である。</p> <p>「学びのポケット」が他教科とのつながりを意識したページとなっていて、過去・現在・未来及びトリの目・アリの目を図で示し多面的な見方や考え方ができるように工夫されている。</p> <p>続いて、光村図書出版である。</p> <p>単元末の振り返りページでは、学びを言語化し、個人でまとめることで気付きを自覚したり、関連付けたり、捉えなおしたりしている児童の姿が具体的に示されている。</p> <p>次に、新興出版社啓林館である。</p> <p>生活の中からの気づきを刺激する「わくわく」、もっと知りたい・調べてみたいと深める「いきいき」、自分でやってみる・表現してみる「ぐんぐん」の3段階で構成され、思いや願いの実現に向けて繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深めていけるように工夫されている。</p> <p>教育長</p> <p>生活について、意見があったら願います。</p> <p>鹿山委員</p> <p>生物学者のレイチェル・カーソンの言葉に、「子供の育ちにとって、もっとも大切なものは何か？それは知ることよりもまず感じる」とある。生活科では、レイチェルの言う神秘さや不思議さに目をみはる感性などを養ってもらいたい。東京書籍の表紙の題である「どきどき わくわく」また、裏表紙に「小さな気付きを大きな未来に」という保護者へのメッセージがある。そこにある言葉が低学年における学びで最も大切なことだと感</p>
--	--	--

		<p>じた。</p> <p>大竹委員 東京書籍は、危険な生物に対する注意喚起がしっかりとされており、児童が安全に学習できるような配慮があると感じた。</p> <p>大澤委員 東京書籍の「ほんとうのおおきさいきものずかん」は、実物と照らし合わせて観察でき、より理解を深めることができる。</p> <p>飯塚委員 教育出版の「なにをかんじたかな」で、児童の気付きや感じたことを促し、多様な表現活動があるのはよい。</p> <p>教育長 次に音楽について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 音楽について、東京書籍から報告する。 学習内容を広げる「もっとあそぼう」や全校で楽しめる合唱曲、教科横断的な教材「Short Time Learning」が全学年に配置されている。 音符や休符、記号などは、各教材の別枠に示されている。巻末には、学習指導要領外の内容「はってん」が掲載されている。 次に、教育芸術社である。 「音楽づくり」では、アイコンや吹き出しで学習の手順や工夫のポイントを示し、題材内の他の教材と関連させ学びをつなげている。音や音楽への興味・関心が音楽科の学習につながるようなコラムや写真も掲載されている。 表現教材や鑑賞教材では、児童の学習段階に応じて絵譜や図形楽譜など、いろいろな種類の譜例が掲載されている。</p> <p>教育長 音楽について、意見があったらお願いします。</p> <p>鹿山委員 教育出版では、辻井伸行さんのページで「音楽ならば言葉の</p>
--	--	---

		<p>通じない外国の人たちにも楽しんだり喜んだりしてもらえる」という言葉が載っている。また、辻井伸行さんの言葉の他にもストリートピアノが載っていたり、ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章やラプソディー・イン・ブルーも載っていたりする。どれも、音楽には人と人をつなぐパワーがあり、それは言葉や民族を超えて喜びを分かち合えるものなのだという強いメッセージがこの教科書から感じられた。</p> <p>大澤委員</p> <p>教育出版は、「にっぽんのうた みんなのうた」として、写真や資料も音楽のイメージをもちやすいように工夫されている。教育芸術社は、「歌いつごう日本の歌」として童謡、唱歌が取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配置されている。どちらの教科書も良さがあるが、教師が指導しやすく、児童が学びやすいことが大切であると思う。</p> <p>飯塚委員</p> <p>どちらの教科書も、ねらいや目当て、まとめや振り返りがあり、学習の見通しがもてる。教育芸術社の思いや気付きを書き込むことができるのは良いと感じた。</p> <p>大竹委員</p> <p>教育芸術社の「考える」、「見つける」、「歌う・演奏する」、「つくる」などのマークは、学ぶことがわかりやすく示されていると感じた。</p> <p>教育長</p> <p>次に図画工作について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>図画工作について、開隆堂出版から報告する。</p> <p>題材の冒頭に題材の目標を提示して発想を促すとともに、巻末資料で材料・用具・技法を例示し、その扱い方・ポイントなど、情報を取捨選択・工夫して表現できるよう配慮されている。</p> <p>各ページの中に枠で囲ったコーナーを多く設け、学習のポイントやヒントとなる記述や図版を示して学習活動が促進される</p>
--	--	--

		<p>よう工夫されている。</p> <p>続いて、日本文教出版である。</p> <p>児童の発達段階に合わせ、児童作品、専門家の作品などの写真、材料・用具、技法などの図版・説明を数多く掲載し、児童の学習活動のヒントとしている。マーク、イラスト、吹き出しを駆使して、学習の目当て、学習のヒントなど、視覚的に分かりやすく、かつ、多くの情報が提示・掲載されている。</p> <p>教育長</p> <p>図画工作について、意見があったらお願いします。</p> <p>飯塚委員</p> <p>開隆堂出版は、児童の作品などの写真が多く紹介されているのは、作品づくりのヒントとして良いと感じた。</p> <p>大澤委員</p> <p>開隆堂出版では、その児童の作品に加え、日本や諸外国の多様な作品が掲載されており、児童がそれぞれの文化について意欲的に学べると感じた。日本文教出版の「材料と用具の引き出し」の扉ページには、ものづくりに様々な形で関わる人たちのメッセージがあるのが良いと感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>開隆堂出版はページの下部に、「タブレット端末で見てみよう」、「参考」、「かたづけ」などのコーナーがあり、後片付けの仕方や他の教科等とのつながりについて示されていると感じた。日本文教出版は、全体的に取り上げられている作品が生き生きとして美しい印象を受けた。</p> <p>大竹委員</p> <p>図工も安全に配慮しなければならない教科であるが、どちらも吹き出しで安全の注意喚起をしているのは良い。</p> <p>教育長</p> <p>次に家庭について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p>
--	--	--

		<p>家庭について、東京書籍から報告する。</p> <p>単元の導入で身の回りや身近な事例について話し合う活動が設定されており、自分の生活を振り返ることにより、課題が明確になる工夫がされている。</p> <p>「話し合おう」、「考えよう」、「やってみよう」、「調べよう」、「深めよう」などの活動を通し、主体的・対話的な学習を進めていけるように工夫されている。</p> <p>次に、開隆堂出版である。</p> <p>「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」という流れで単元の学習が構成されており、自分ごととして学び、友だちと学び合いながら学習を進めていけるように工夫されている。実習等で写真やイラストが効果的に活用されており、手順や道具を目で見て確認することができる。様々な発達特性に配慮され、誰にでも分かりやすい構成となっている。</p> <p>教育長 家庭について、意見があったらお願いします。</p> <p>大澤委員 東京書籍は、実習の説明が丁寧で、手順の写真が大きくて見やすいと感じた。開隆堂出版では、「気づく、見つける」、「わかる、できる」、「生かす、深める」といった学習過程を示すことで、児童が見通しをもって課題解決学習に取り組めると感じた。</p> <p>鹿山委員 東京書籍は、「プロに聞く」というコラムがあり、色々なヒントから気づきが得られると感じた。開隆堂出版では、「考えよう」、「調べよう」といった児童が主体的に学べる工夫があると感じた。</p> <p>大竹委員 開隆堂出版のキャリアインタビューコーナーは、将来どのように学んだことを生かしていけば良いか、見通しがもてると感じた。</p> <p>飯塚委員</p>
--	--	---

		<p>開隆堂出版は他に豆知識のコーナーもあり、児童の興味関心を引く良い工夫だと感じた。</p> <p>教育長 次に保健について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 保健について、東京書籍から報告する。 毎時同じ流れで、学習の進め方が明確に例示されているため、見通しをもち、主体的に学習できるように工夫されている。高学年の教科書には、「不安や悩みがある時の相談窓口」が記載された。児童の人権等への配慮がされている。 次に、大日本図書である。 「つかもう」から「話し合おう・考えよう」という流れになり、「つかもう」では課題を理解し、「話し合おう・考えよう」では、例示を見て、課題の解決策を個人やみんなで考えられるように工夫されている。 次に、大修館書店である。 本文が簡潔で、重要語句が太字になっていて、「解説」で学習上必要な語句の詳しい説明があり、知識・技能が習得しやすいように工夫されている。学習の進め方が明記されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 続いて、文教社である。 「ちょっとまった!」、「Clear」、「Complete」の項目があり、課題解決に向けた補助的な発問が提示されており、理解を深められるように工夫されている。また、振り返りから今後の生活へのつながりを意識した展開になるように工夫されている。 次に、光文書院である。 「生かそう」では、学習したことを基に自分の考えを書いたり、友達にアドバイスをしたりする等、主体的に取り組めるように工夫されている。絵やグラフだけでなく、写真も多く使用されており、資料を基に思考力や理解力がより深められるように工夫されている。 最後に、Gakken である。 単元の初めに「学習の目標」が書かれており、児童に各単元でのゴールを意識させ、1 単位時間のめあてもゴールに繋がる流</p>
--	--	---

		<p>れになっている。各単元の末に「ふり返り→伝える→つなぐ」というページがあり、学習の振り返りや今後の生活の仕方を考えられるように工夫されている。</p> <p>教育長 保健について、意見があったら願います。</p> <p>鹿山委員 保健の学習は、生涯付き合うこととなるテーマである「健康」について学ぶ、とても大切な学習であると考え。東京書籍は、学習内容が全体的によくまとめられていて、児童にとって学びやすいと感じた。不安や悩みがあるときの相談窓口の表が新設されたのも、今の時代には必要であると感じた。また、薬やお薬手帳についての記載も各社によって異なっていた。</p> <p>飯塚委員 各社、時事的問題でもあるLGBTQや感染症についても取り上げていた。その知識は、現在から将来にわたり、とても大切である。大修館書店は写真が多く、児童が分かりやすく、イメージしやすいと感じた。</p> <p>大竹委員 東京書籍は「ステップ」で段階を踏みながら児童自ら課題を見つけ、解決していく工夫がされている。また、今回新たに「スキル」の項目が設けられ、児童がより実践的かつ生活化できるよう工夫されたことは良い。</p> <p>大澤委員 学研は、道徳、キャリア教育、食育などの記載があり、保健と関連付けて考えることができ良い。</p> <p>教育長 次に英語について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長 英語について、東京書籍から報告する。 単元ごとに Goal が示されており、Unit の Goal とまとめの活</p>
--	--	--

		<p>動が概ね一致していてわかりやすい。また、年3回「Check Your Steps」で内容を整理して発表することで、語彙や表現の定着を図っている。</p> <p>次に、開隆堂出版である。</p> <p>英語を「聞く」、「使う」を繰り返した後、音声で慣れ親しんだ英語を文字と結びつけ最後に「書く」活動という構成になっている。既習の語句や表現を繰り返し使用し定着を図る「Small Talk」を2時間に1回程度設定している。アルファベット学習「Sounds and Letters」は帯活動になっており、継続的に行えるよう工夫されている。</p> <p>次に、三省堂である。</p> <p>地域のことや学校生活、将来のことなど、今、そしてこれからの自分を考える内容となっている。また、「Hello World」では、他国の文化について知り、他者への理解を深めることができるようになっている。</p> <p>続いて、教育出版である。</p> <p>Lesson 内にペアやグループで協力し合いながら取り組む「Activity」や「Final Activity」を設け、実際にコミュニケーション活動をする機会を豊富に取り入れている。その際には、学習した内容を活用してコミュニケーションがとれるように工夫されている。</p> <p>次に、光村図書出版である。</p> <p>各 Unit に、言語活動を行う「Let's try.」と「Plus One」が設けてあり、「Let's try.」で扱った話題を「Plus One」で別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりすることで、児童の思考力・判断力・表現力が繰り返し養えるように工夫している。</p> <p>最後に、新興出版社啓林館である。</p> <p>言葉の使用場面や使い方を考えたり、コミュニケーションに大切なことは何かを考えさせたりするなどの児童が考える場面が多く設定されており、児童の思考力や判断力、表現力などを養う工夫がされている。</p> <p>教育長</p> <p>英語について、意見があったらお願いします。</p> <p>大澤委員</p>
--	--	---

		<p>英語の教科書については、活動が豊富で、中学校への接続も意識した上で内容が充実し、担任、ALTともに教えやすく、児童にとっても授業の流れがわかりやすいものが良いと思う。その上で、開隆堂出版は、各単元で身に付けたい力が明確になっていて、ゴールのまで言語活動を積み重ね、単元を通して資質・能力が学習できるよう構成されているのは良いと感じた。</p> <p>鹿山委員</p> <p>東京書籍の別冊「My Picture Dictionary」は実践で使え、役立つと感じた。開隆堂出版は、学習内容が難しい部分もあるが、全体的に内容が充実していると感じた。</p> <p>大竹委員</p> <p>開隆堂出版の「Word book」も、親しみやすく言葉と触れ合えると感じた。振り返りが充実しており、復習につなげやすい。また、光村図書出版は、写真や絵が色鮮やかで、様々な国の文化を取り入れ、グローバルに表現している印象を受けた。</p> <p>飯塚委員</p> <p>開隆堂出版も「our world」で国際理解についての学習を深めるために、世界の生活や文化について示している。あとは、特に啓林館は総ページ数、新出総単語数共に多く、豊富な知識を身に付けることができると思う。また、ページ数が英語で書かれている教科書は良いと思った。</p> <p>教育長</p> <p>最後に道徳について報告をお願いします。</p> <p>教育指導課長</p> <p>道徳について、まずは、東京書籍から報告する。</p> <p>巻末の「考えるためのツール」には、自分の考えを可視化し、友達と考えを比較するためのツールが例示されている。また、教材の最後の「考えよう」では、キャラクターによる問題意識を喚起するような投げかけが掲載されている。</p> <p>続いて、教育出版である。</p> <p>各教材に「導入」、「考えよう」、「深めよう」が設けられ、学習前後の考えと心の変容を児童が実感できるよう工夫されている。</p>
--	--	--

		<p>る。また、教材の最後に「自己評価欄」が設けられ、学習の成果を振り返ることができるようになっている。</p> <p>次に、光村図書出版である。</p> <p>いじめ問題ではソーシャルスキルトレーニング、情報モラルでは家庭との連携など、具体的な活動の中で考えられるように工夫されている。年間を3つのまとまりに分けて構成していて、児童の発達の段階や特性を考慮した内容や分量になっている。</p> <p>続いて、日本文教出版である。</p> <p>巻頭の「道徳のとびら」で、学習内容やねらいなどが端的に示されている。また、教材の冒頭に内容項目を児童向けの言葉で掲載し、道徳的価値と関連付けて思考を進められるよう工夫されている。</p> <p>次に、光文書院である。</p> <p>人間としての生き方に迫る題材を選定したり、挿絵に多様な表現方法を取り入れたり工夫されていて、児童が自分の事として考えを深められるように工夫されている。</p> <p>続いて、Gakken である。</p> <p>主題名が教材冒頭になく、多様な価値観を受け止めることができるように工夫されている。教材の最後の「考えよう」では、児童が自己を見つめて考えるきっかけとなる問いが設定されている。</p> <p>教育長</p> <p>道徳について、意見があったら願います。</p> <p>大竹委員</p> <p>前回の教科書採択の際には、学習指導要領の改訂に、いじめ防止や命の大切さなどを子供たちに身に付けてもらいたいという想いが込められていたと記憶している。どの教科書会社も、いじめ防止やいのちについて重要テーマとして数多くの教材を掲載していた。是非、その重要性を子供たちに学ばせてもらいたい。</p> <p>飯塚委員</p> <p>「考え、議論する道徳」も道徳の教科化の中で、前回とりあげられたテーマである。これも各社が児童の考えを促す工夫が見られた。日本文教出版と学研は、導入の問いに工夫があり、児童</p>
--	--	--

	<p>議案第43号 令和5年度障害のある児童生徒の就学に関する答申について</p>	<p>の主体的な学びにつながると感じた。</p> <p>鹿山委員 東京書籍の5年生で取り上げられていたヒヤリ・ハットは、大人になって仕事現場などでも重要である。学研は、「光をともした魔法の薬イベルメクチン」の話が感動的であり、世界中の人々のために行動することの大切さが伝わると感じた。また、主題の提示をはじめに示さないことで、児童の考えに広がりが出ると感じた。</p> <p>大澤委員 学研の、巻頭「つながる私 広がる私」、巻末の「つなげようひろげよう」は、児童が自らの成長を感じる上で有効であると感じた。</p> <p>教育長 以上で小学校教科用図書の報告と協議を終了とし、続いて令和6年度使用小学校教科用図書の採択に移る。</p> <p>これより非公開とする。</p> <p>(非公開)</p> <p>【全委員承認】</p> <p>(非公開)</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長 以上で本日の定例会を閉会とする。</p>
--	---	--

その他特に重要と認める事項

- 1 次回定例会開催予定日 令和5年8月10日(木) 午後2時00分
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長

委 員

委 員